



## まちの概要

---

柴田町は、仙台駅から南に25kmに位置し、町の総面積は53.98 km<sup>2</sup>、人口は3万8,572人の県南最大規模の町。

藩政時代、伊達騒動で知られる原田甲斐と名門柴田家の城下町として栄えた「船岡」と、奥州街道の64番目の宿場町として栄えた「槻木」が、昭和31年に合併して誕生した町である。

## 桜の概要

---

柴田町には、日本のさくら名所100選に選ばれた「船岡城址公園」と「白石川堤一目千本桜」があり、東北有数の桜の名所として知られている。毎年「しばた桜まつり」が開催され、県内外から20万人を超える花見客で賑わう。

「船岡城址公園」では、1,000本を超える染井吉野桜や山桜が咲き誇り、満開時には全山が桜色に染まる。「白石川堤一目千本桜」は、町から大河原町に至る総延長8kmに約900本の染井吉野桜が植えられている。



## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

---

およそ100年の歴史をもつ桜の景観を町の誇りとする「柴田さくらの会」をはじめ町民各位のご尽力により、町内のいたるところに桜の植栽事業を展開してきた。このことにより数的には充足された観がある。

今後は、この景観を後世に承継していく施策の展開が喫緊の課題であると考えており、平成26年度末までに、桜の古木の保護や育成などを含めた将来の柴田の桜のありようを定める「しばたの桜100年計画」を策定している。

◇柴田町 web サイト：<http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

## まちの概要

仙北市は、秋田県の東部中央に位置し、岩手県と隣接している。平成 17 年 9 月 20 日に田沢湖町、角館町、西木村の旧 3 町村が合併し形成された。仙北市のほぼ中央に水深が日本一の田沢湖があり南に秋田こまちの産地仙北平野へと開けている。地域の約 8 割が森林地帯で、玉川温泉や乳頭温泉郷と温泉にも恵まれている。

角館町地区には、元和 6（1620）年の町並みが現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。山桜の樹皮を原材料とした伝統工芸樺細工でも知られている。

## 桜の概要

仙北市角館町の国指定 2 件の桜は、雪に閉じ込められた長い冬の終わりの証として多くの人々に春の訪れを見せてくれる。

武家屋敷一帯のシダレザクラは藩政時代以来の歴史的記念物であり、今ではこの一帯の不可欠な景観構成要素となっており、花の時期はもちろんだが、四季を通じ歴史的風趣を添えている。



一方、まちの中央部を流れる檜木内川堤のソメイヨシノの桜並木は、昭和 9 年今上陛下の誕生を祝い記念植樹したものである。樹齢約 70 年 2km の桜並木には、老木の桜が今も壮観な花のトンネルを見せている。

## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

伝統的建造物群保存地区に選定されている武家屋敷の修理風景や国指定の角館のシダレザクラや、国名勝の檜木内川堤の桜他の保存管理等、市内の文化財を守りながらその情報を発信することにより、新規の方はもとより、リピーターの方に何度も訪れていただけるような安らぎを与えたい。

また、市内の標高差による開花推移によって、それぞれの景観を長く楽しんでいただけるよう努めたい。平成 22 年度からは新たに桜係を設置し、さくらアドバイザー（黒坂登氏）の指導のもと、桜の維持管理を今まで以上に丁寧に実施したいと考えている。

◇仙北市 web サイト：<http://www.city.semboku.akita.jp/>



## まちの概要

富岡町は、福島県浜通り地方の中央部に位置し、東は広大な太平洋が広がり、西は緑豊かな阿武隈山系に囲まれた町である。町内を二分して太平洋に注ぐ富岡川や阿武隈山地を流れる滝川溪谷、大倉山、麓山などの山々、断崖絶壁の海岸線、離れ島が散在する浜辺など大自然の宝庫となっている。四季を通じてしのぎやすい温暖な気候に恵まれ、降水量も比較的少なく、農作物の栽培に適した暮らしやすい地域である。

## 桜の概要

富岡町の夜の森（よのもり）の桜は、明治30（1900）年、半谷清寿（はんかがいせいじゅ）氏が荒野だったこの地を開拓のため入植したとき、宅地周辺に300余本のソメイヨシノを植えたのが始まりとされている。

その後、清寿氏の次男・六郎氏や地域住民に受け継がれ、華の町へと生まれ変わった。樹齢100年を超える桜も含めて、約2.5km続く桜並木となっている。平成2年には、(財)日本さくらの会による「別選さくらの名所」に選定された。

これらを含め、現在、町内には約2,400本の桜が咲き乱れる。

## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

東日本大震災と原子力発電所の事故の影響で、富岡町は町全体が警戒区域に指定された。昨年3月の区域再編で放射線量によって3区域（帰還困難区域・居住制限区域・避難指示解除準備区域）に区分されたが、現在も町全体に避難指示が継続している。桜並木がある夜の森地区の大半が、立ち入りに制限のある帰還困難区域であり、震災前まで行っていた桜を活用したイベントも町内では開催できない状況にある。

富岡町でもようやく本格除染が始まったが、夜の森地区の除染はまだ先になると思われる。しかしながら町の財産である桜の木は町民希望の象徴であり、除染やインフラ復旧が完了し、避難指示が解除された後には桜祭りを復活させたい。



◇富岡町 web サイト：<http://www.tomioka-town.org/>



## まちの概要

日立市は太平洋と阿武隈山地に囲まれた自然豊かなまちであり、明治時代から鉱業、電気機械産業を中心とした国内有数の鉱工業都市として成長してきた。

また、伊師浜国民休養地は、全国でも唯一のウミウの捕獲・供給地として知られ、長良川をはじめ全国の鵜飼地にウミウを提供している。

特色としては地域コミュニティが盛んで、福祉・環境、防災、防犯・生涯学習から「さくらのまちづくり」まで、多くの団体が幅広く活動している。

## 桜の概要

大正の初め、煙害で荒廃した山々に、日立鉱山が「大島桜」など煙害に強い苗木を大量に植林したのが始まりとされる。桜のトンネルをつくる平和通りと約 1,000 本の桜が植栽されているかみね公園は「日本のさくら名所 100 選」に選ばれている。

また、十王パノラマ公園には 35 種約 400 本の桜が植えられており、平和通り、かみね公園と併せて日立さくらまつりの会場となっている。

本市特有の桜品種として、平成 18 年 8 月に「日立紅寒」が種苗法に基づき品種登録された。



## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

日立市の桜は、市民・企業・行政が鉱山の煙害をきっかけにまちづくりに取り組んできた現れであり、まちの歴史とともに育まれてきた大切な資源である桜を次世代に伝えていくため、官民一体となって事業を推進していきたい。

また、日立市固有の品種として登録された「日立紅寒」についても、それを活かした事業を検討しながら、市を中心に苗木の植栽を推進していきたい。

— 主な整備等

- ・ テングス病枝除去事業の実施
- ・ 日立紅寒桜の育成の推進
- ・ 老木化した桜の計画的な更新

◇日立市 web サイト：<http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/>

◇日立市観光物産協会 web サイト：<http://www.kankou-hitachi.jp/>



## まちの概要

群馬県の県庁所在地であり、雄大な赤城山を背に、利根川や広瀬川の清流が流れる風土が萩原朔太郎を始め多くの詩人を生み出したことから、「水と緑と詩（うた）のまち」をキャッチフレーズとしてまちづくりを推進している。平成21年4月には県内初となる中核市に移行した。

## 桜の概要

赤城南面千本桜は、「日本さくら名所100選」に名を連ねる群馬県を代表する桜の名所で、毎年4月に開催される桜まつりでは、約1.3kmにわたる桜のトンネルと赤城南面千本桜に隣接して整備された「みやぎ千本桜の森」の37種の桜と約15万株の芝桜が見事な景観を作り出し、多くの観桜客で賑わう。



## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

赤城南面千本桜は、戦後の荒廃した山林に豊かな緑を復活させようと地域住民が一丸となり、昭和31年から3年間にわたって約1,400本のソメイヨシノを植栽した桜並木であるが、植栽されて60年近く経過していることから、将来にわたってこの地を桜の名所として継承するため、赤城南面千本桜の隣に37種、約500本の桜と約15万株の芝桜を植栽した「みやぎ千本桜の森」を整備した。

赤城南面千本桜とみやぎ千本桜の森では、地域住民による愛護会により年間を通じた除草や施肥などの管理作業が行われているほか、自治会などの地域の団体で組織する実行委員会により毎年桜まつりを運営している。

◇前橋市 web サイト：<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>  
 ◇前橋観光コンベンション協会 web サイト：<http://www.maebashi-cvb.com/>

# 埼玉県 北本市

## まちの概要

北本市は東京から40～45kmの位置にあり、武蔵野の面影を残す雑木林が点在する緑豊かな住宅都市である。昭和46年11月3日に埼玉県内33番目の市として誕生した。

まちづくりの方針に「ずっと住み続けたいまち、きたもと」を掲げ、経済・教育の活性化、便利で公正な行政サービスの提供、子育て支援の充実、自然環境の保全などの取組みを進めている。

## 桜の概要

北本市の桜には、日本五大桜の一つで、大正11年に国の天然記念物に指定された樹齢約800年の「石戸蒲ザクラ」（他に福島県三春の滝ザクラ、山梨県武川村の山高神代桜、静岡県富士見市の狩宿の下馬ザクラ、岐阜県本巣市の根尾谷淡墨桜）、市の天然記念物として指定されている樹齢約200年の「高尾エドヒガンザクラ」、ソメイヨシノの「石戸城ヶ谷堤」など、桜の名所が数多くあり市民に親しまれている。平成7年には石戸蒲ザクラの後継樹や北本市に転入された方々の故郷から送られた11種182本の様々な種類の桜を植栽した「高尾さくら公園」を開設し、毎年市内外から多くの人々が訪れている。

また、市内の雑木林には、大宮台地における全ての自生種、ヤマザクラ、エドヒガンザクラ、シダレザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラが今なお健在に自生しており、街路樹として八重桜や企業内の緑地にソメイヨシノなど多くの桜が植栽されている。



## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

イメージアップ推進のため、市の花である桜を、市民一体となって魅力あるまちづくりを目指す指針として「観せる」「伝える」「創る」という3つの展開方針に沿って事業を推進する。また、石戸蒲ザクラは推定樹齢800年という高樹齢で樹勢が低下しており、樹勢維持のための施肥・外科的処置を行うとともに、市民配布したクローン技術を用いた後継樹の育成管理を推し進めていく。

◇北本市 web サイト：<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/>





## まちの概要

幸手市は埼玉県の北東部に位置し、東京まで電車で約1時間、人口約5万4,000人の緑豊かな住宅都市として発展している。かつては、日光街道の宿場町として栄え、現在では東京のベッドタウンとしての役割を持つ一方、市の東側には豊かな田園地帯が広がっている。

平成26年度末に圏央道が開通予定であり、インターチェンジが設置され、周辺に新たな産業団地の整備が進められている。

## 桜の概要

市内北部の権現堂堤には約1,000本の桜が1kmに渡って連なり、周辺には菜の花が作付けされ、桜のピンクと菜の花の黄色とのコントラストが見事である。毎年3月下旬から4月上旬にかけて桜まつりが開催され、多くの花見客（平成25年58万5,000人）で賑わい、関東屈指の桜の名所となっている。

また、地元住民で組織されたNPO法人幸手権現堂桜堤保存会が中心となって、桜や権現堂堤の保全を活発に行っている。



## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

NPO法人幸手権現堂桜堤保存会が主体となり、権現堂堤の環境整備を行っているほか、紫陽花、曼珠沙華、水仙といった花を植栽し、桜だけではなく四季折々の花を楽しむ公園として権現堂堤を整備している。また、権現堂堤の桜は樹齢が60年以上になるため、現在では桜の維持管理に重点を置き、桜の保護や手入れを主体に事業を進めている。

◇幸手市 web サイト : <http://www.city.satte.lg.jp/>  
 ◇幸手市観光協会 web サイト : <http://www.satte-k.com/>

# 東京都豊島区

## まちの概要

豊島区は東京 23 区の西北部に位置し、人口 27 万人、面積 13.01km<sup>2</sup>、1 ヘクタールあたりの人口は 209 人で日本一の人口密度の都市。玄関口の池袋は鉄道の乗降客数が 1 日あたり 254 万人を超える。また、街中はサンシャインシティやアニメなどを目当てに多くの来街者で賑わっている。

「文化と品格を誇る価値あるまちづくり」を目標に、ソメイヨシノやトキワ荘、池袋モンパルナス、ふくろうなど豊島区独自の文化資源によるまちづくりを進めている。

平成 27 年春には、マンションと合築した 49 階建ての新庁舎の完成をはじめ、多くの公共施設が出来てくる。「街が変わる、街を変える」を合言葉に、誰もが住みたい・訪れたいと思うオンリーワンのまちづくりに今、積極的に取り組んでいる。

## 桜の概要



全国に広く知られているソメイヨシノは、オシマザクラとエドヒガンの交配種と考えられている。江戸時代末期から明治時代初めに染井（現在の豊島区駒込）の植木屋が「吉野桜（ヨシノザクラ）」の名で全国に向けて売り出し、のちに奈良県吉野山の「吉野桜」との混同を避けるため「染井吉野（ソメイヨシノ）」と改めたとされる。

また、発祥の地「染井」をPRするため、「染井」生まれのソメイヨシノを育て全国に送り出す苗床を「染井よしの桜の里公園」の一角に設け、地域の方とソメイヨシノを広め・育てる活動に取り組んでいる。

## 桜についての考え方、今後の施策・整備について

ソメイヨシノをモチーフにしたデザインを区のシンボルマークに位置付けるとともに、庁内横断組織であるプロジェクトを発足し、内外に「ソメイヨシノ発祥の地 豊島区」を発信していく体制を構築した。また、「染井よしの桜の里駒込協議会」等が取り組んでいる、桜まつりの開催、桜マップの作成、さくらフォトコンテストの実施、純米吟醸酒「染井桜」の販売活動等を支援し、地域と一体となって「ソメイヨシノ」による四季を感じられるまちづくりの輪を広げている。

◇豊島区 web サイト：<http://www.city.toshima.lg.jp/index.html>